

経路の設計



目的地までの経路がわからないときは、精神的な不安が疲労や不注意の原因になってしまいます。あらかじめ道路地図などを利用して経路を設計しておきましょう。

1 地図情報の読み取り

道路地図からは、単なる道案内だけでなく、次のようないろいろな情報を読み取ることができます。

- ① 目安となる地名、施設名、交差点名
- ② 道路名
- ③ 目的地までの距離と所要時間

1 地図の選択

道路地図には、

- ① 道路情報を主にしたものと観光案内を主にしたもの
- ② 折りたたみ式のもの和本になったもの
- ③ 全国のものとはブロックごとのもの
- ④ 縮尺の違うもの（縮尺は、目的地までの距離を調べるのに利用しましょう。）



などいろいろな種類があります。使用目的に合わせて、なるべく新しいものを選びましょう。

2 目的地までの距離と時間

所要時間まで入っている地図もありますが、一般の地図では距離からおおよその時間を計算します。走行距離と時間のおおよその目安は次のとおりです。

- 一般道路…… 1時間で約30km
- 高速道路…… 1時間で約80km

なお、山道や渋滞場所などでは1時間あたりの走行距離が違ってきます。

セーフティエチケット

カーナビ

カーナビは、ドライバーにとってはとても便利で、地図を見なくても、目的地に到着させてくれる、優れたものです。前方で、渋滞が発生していても、カーナビがあれば渋滞を回避して、道を案内してくれます。

また、ハードディスクが内蔵されているものは、幹線道路以外を通過した場合、その道を学習する機能が付いている種類もあります。

このようにカーナビを利用して、運転時間を短縮するのも、エコドライブのひとつになります。

しかし、運転中にカーナビを注視する行為は、大変危険で交通違反になるのでしてはいけません。



- 富良野から支笏湖までの所要時間を計算しましょう（野幌 PA で 1 回休憩をとります。）。



● 富良野～滝川 IC (km)	時間	分
● 滝川 IC～野幌 PA (km)	時間	分
● 野幌 PA で休憩		時間	分
● 野幌 PA～苫小牧西 IC (km)	時間	分
● 苫小牧西 IC～支笏湖 (km)	時間	分
● 合計所要時間		時間	分

セーフティエチケット

エンジョイドライブ

天気がいよりのドライブは、気持ちのよいものです。ですが、夕暮れ時は、西に向かって運転していると、夕日がまぶしすぎて前が一瞬見えなくなってしまうことがあります。こんなときは、サングラスをかけたり、日よけを下ろしたりして、対向車や歩行者に注意をしなければいけません。

また、夕日に気をとられていて対向車に気づくのが遅くなりますので、ライトは早めに点灯し、対向車にも自分の車の位置を分かるようにしましょう。

北海道では、「デイ・ライト運動」として、昼間にライトを点灯することで、自らの交通安全意識を高めるほか、ライト点灯車両の存在、位置等を相手に認識してもらうことにより交通事故の防止を図ることを目的とする運動を行っています。

3 交通規制の情報

市街地の地図には、右折禁止や一方通行など交通規制の内容が分かるものもあり、正確な経路を設計するために役立ちます。

4 高速道路、有料道路、カーフェリーの料金

料金は、一般に軽自動車、普通乗用自動車、普通貨物自動車ではそれぞれ異なります。出発の前に、調べておきましょう。

5 その他の情報

地図によっては、次のような情報も知ることができます。

- ① 交差点の名称や信号機の有無
- ② 渋滞場所
- ③ 駐車場やガソリンスタンドの位置
- ④ 観光地 など

記号は地図によって多少異なりますが、一般的には次のような記号が使われています。

警察署……………		交差点……………	
病 院……………		信号機……………	
市役所……………		方面標識……………	
消防署……………		国道番号……………	
銀 行……………		道道番号……………	
学 校……………	文	J R線……………	
神 社……………	卍	サービスエリア等…	
寺 院……………	卍	区間距離……………	
名所・名勝……………	∴	ガソリンスタンド…	
郵便局……………		駐車場……………	

② 経路の設計の仕方

経路設計に際しては、ただ単に最短ルートを選択するだけでなく、道路工事や交通規制情報、渋滞情報などを入手して、う回路はどうなっているか、高速道路や有料道路の利用をどうするかなどについても考慮した綿密な計画を立てることが大切です。

また、途中の休憩場所や分岐路付近の目標物、目的地付近の駐車場の位置、所要時間などについても調べておきましょう。

Research より深く...

「経路設計」

現在は、インターネットで出発地と目的地を入力すれば、経路を設計し目的地までの所要時間、距離などの検索がだれでもできるようになりました。このようにインターネットを活用するのもひとつの方法です。



- A市立病院までの経路を設計してください。現在地はA市の南、A消防署の前です。



③ 案内標識等の活用

案内標識は、方面や距離のほか、国道番号や地点の名称、駐車場、インターチェンジ入口などを知らせてくれています。

設計した経路を正確に走行するためには、常に案内標識に注意を向け、見落としのないようにすることが大切です。

標識の意味をよく考えましょう。

1 一般道路の案内標識（青色）



2 高速道路の案内標識（緑色）



3 ラジオ等の交通情報

渋滞状況や工事規制については、最新の情報を入手することが大切です。あらかじめラジオを聴いたり、日本道路交通情報センターに問い合わせるなどして確かめておきましょう。

また、山岳地の林道や市町村道などについては、役場や警察署に問い合わせることで確かめることができます。



4 ナビゲーションシステム

人工衛星の電波や地磁気センサーなどにより、車の現在位置や進行方向、目的地までの経路や距離をテレビ画面の地図上に表示する装置です。

機種によっては、地図上で混雑状況を色分けし、そこを避けるルートを音声で案内することもできます。また、電話番号の入力だけで目的地を設定したり、インターネットに接続して行楽地の情報を入手できたりします。これらの交通情報も利用しましょう。



しかし、走行中の操作や画面の注視は、事故のもとになるだけでなく、交通違反になります。

あくまでも安全運転を優先して使いましょう。

④ 経路を間違えた場合等の対応の仕方

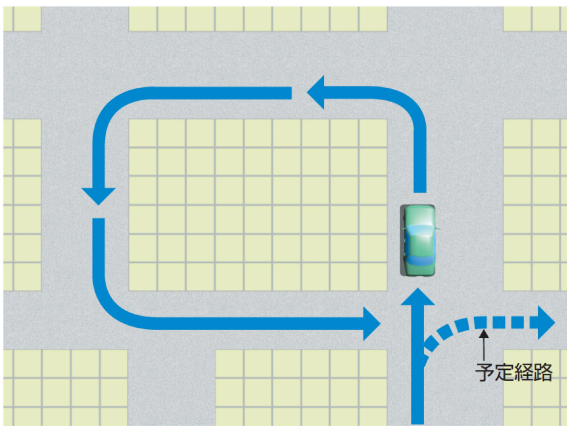
前もって経路を設計しておいた場合でも、道を間違えたり、交通規制のため予定していた交差点が右折できないことなどがあります。そのようなときに、あわてて後退したり、転回したりすることは非常に危険です。

ひとまず、路肩など安全な場所に停止して、冷静に対応するようにしましょう。

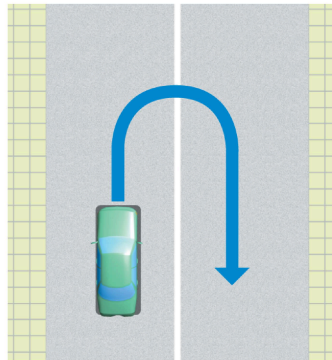
① 間違えたり、右折禁止規制のため右折できなかった場合

経路を間違えたり、交通規制のため進みたい進行方向に進めなかったときは、とりあえず、進行できる方向に進み、そのあとで経路を再設計しましょう。

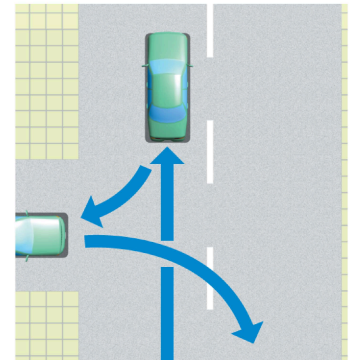
◆う 回



◆U ターン



◆スイッチターン



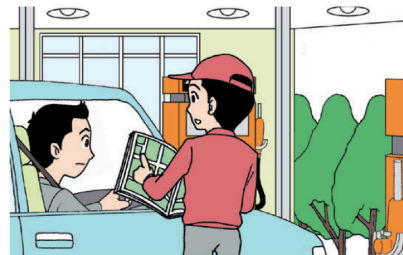
・Uターンやスイッチターンは、必ず転回禁止の場所ではないかを確認し、対向車や歩行者の状況を確認してから行動しましょう。

② 道が分からなくなった場合

交番やガソリンスタンドなどでたずねるのが確実でしょう。

また、地図に載っているような神社や学校、交差点の名称などが分かれば、地図で確かめられます。

◆道が分からなくなったら……。



③ 工事や交通規制のため予定していた道が通行できない場合

工事のときは、う回路を示した標示板があることが多いので確かめましょう。

また、地図上で目標地点と現在地点がわかれば、経路を再設計することもできます。

セーフティエチケット

社会のルール

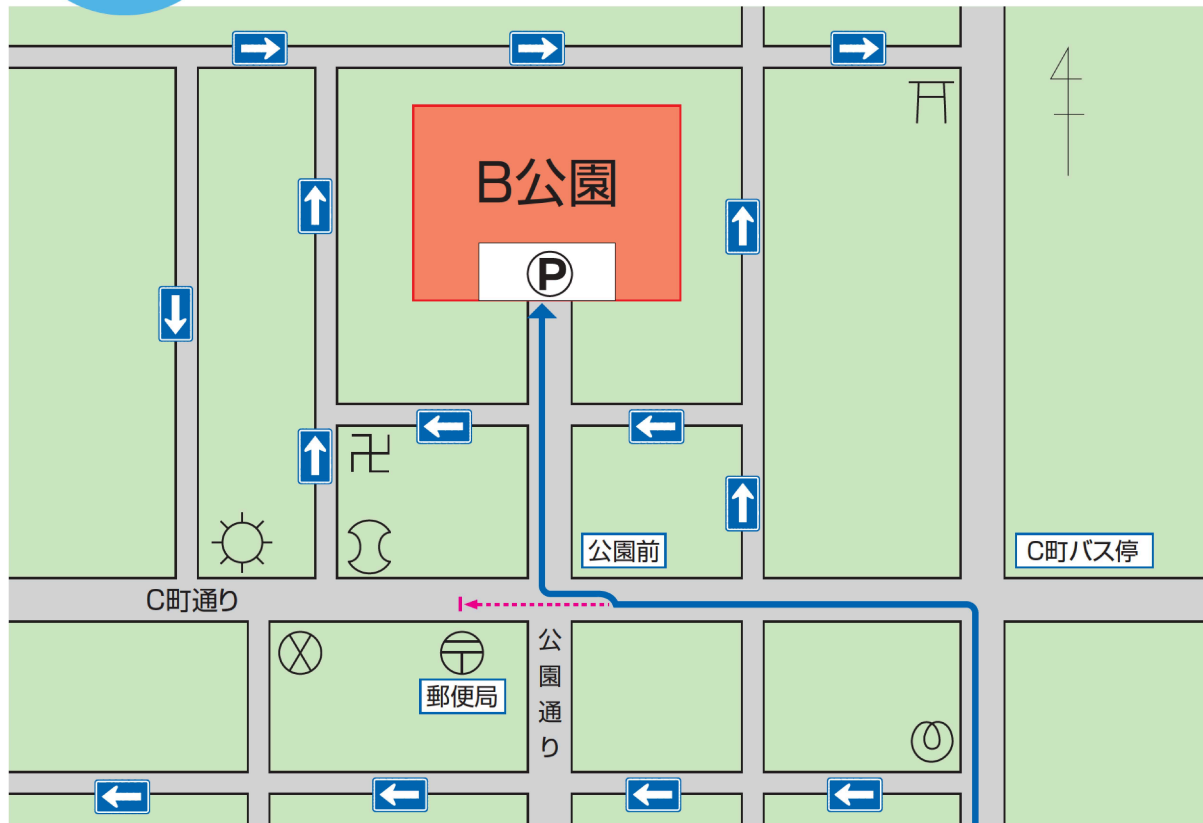
車の窓から、タバコの吸い殻を平気な顔して、ポイ捨てする人を見かけます。同乗者がポイ捨てしても何も言わない運転者もいます。

自分の部屋に、吸い殻をポイ捨てするでしょうか。

道路は、公共の場所です。あなたの行為で嫌な思いをしている人がいることを考え、社会のルールを守りましょう。



- B公園までの経路を下図のように設計しましたが、公園前交差点が右折禁止になっていたため経路を変更しなければなりません。郵便局の前から新たな経路を設計しましょう。



注 C町通りは、転回が禁止されています。

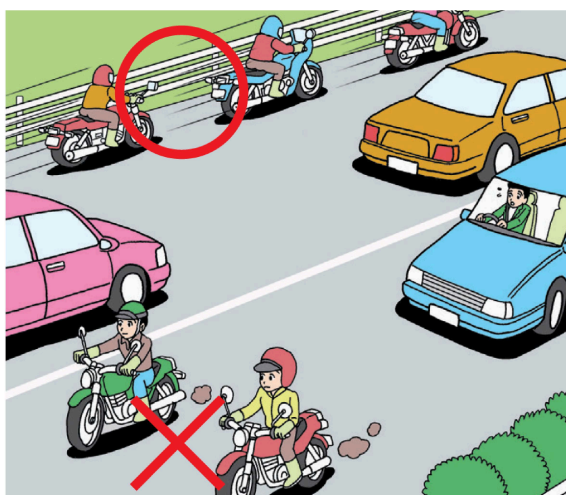
5 ツーリング時の注意

1 ツーリングの基本

大勢のライダーが参加するツーリングは、乗りなれた人が中心となり、参加者の中の初心者にあわせたプランを立てることが原則で、そのポイントは次のとおりです。

- ① 時間的にゆとりをもった計画を立てる。
- ② 先頭はあまり無理をしないライダー、最後尾は運転になれたベテランのライダーを配置する。
- ③ 手による合図など、あらかじめ連絡方法を決めておく。
- ④ 原則として、たて一列で走行する。

◆ほかの交通の妨げにならないように一列で走行しましょう。



2 ツーリングのマナー

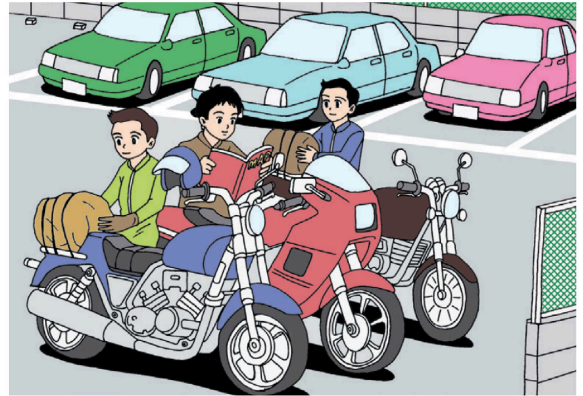
交通ルールを無視した走行や、他人に迷惑をかける走行は、厳につつまなければなりません。

交通社会をになう一員としての自覚と責任をもって行動しましょう。

3 その他

- ① 荷物は、途中で荷くずれしないように、ネットなどを使ってしっかり固定しましょう。
- ② 夏の暑いときは、発汗にみあった水分の補給をしましょう。
- ③ 体を冷やさないためや、転倒時の事故防止のために、長そでの服を着用しましょう。
- ④ 雨具などの準備をしましょう。

◆荷物の準備はしっかりと！



ためしてみよう! ○×問題

正しいと判断したときは○の欄、まちがっている
と判断したときは×の欄に✓印をつけてください。

- | | ○ | × |
|---|--------------------------|--------------------------|
| 問1 走行中、経路が分からなくなったので、地図を見ながら運転した。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 問2 縮尺10万分の1の地図では、1センチが1000メートルである。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 問3 経路を設計する場合、できるだけ広い道を選択するとともに、右左折を少なくして分かりやすい道路を選ぶようにする。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 問4 目的地までの道順が分からないときは、前もって道路地図などで経路を設計する。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 問5 目的地までの走行距離と時間のおおよその目安は、一般道路では、おおむね時速30キロメートル、高速道路では、時速100キロメートルぐらいで計算する。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

▶解答と解説は、271ページにあります◀